

令和6年度 第1回 寝屋川市胃内視鏡検診運営委員会 会議要旨

日時

令和6年11月22日（金）午後2時00分から3時30分

会場

寝屋川市保健所 2階 講堂

出席者（敬称略）

武庫川女子大学	教授	内藤 義彦
社会医療法人彩樹 丸岡消化器内科	医師	島田 守
医療法人 伊与田内科	医師	伊与田 賢也
医療法人道仁会 道仁病院	医師	宮崎 悅子
寝屋川市保健所	所長	田中 英夫
寝屋川市健康部	部長	木場 富士夫
健康づくり推進課	課長	大久保 美紀
	係長	樋原 真裕美
		谷垣 あゆみ
		奥西 文

内容

1 令和6年度実施状況

- (1) 令和6年10月末時点の各医療機関の実施件数、要精密検査の件数及びその内当日生検した件数の報告。
- (2) 研修について、胃内視鏡検査受託医療機関すべてが参加したことを報告。

検討事項

がん検診の精度管理においては要精検率が重要な指標となることから、10月末時点における医療機関別の報告において要精検率が高い医療機関の個票を確認したところ“胃がん疑い”又は“胃がんあり”とされていない受診者にも生検が実施される状況があつたため、精度管理上どのように対応していくのか。

決定事項

「寝屋川市胃がん検診（胃内視鏡検査）実施の手引き」にあるとおり「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」に準じた運営を行う。しかし、

がん疑いでないものに対して生検をしている可能性があるなどの実態があることから、問題を整理し今後の修正を行っていくものとする。

2 胃がん検診(胃内視鏡検査)の運営における報告

胃内視鏡検査の現状について、医療機関の状況及び市の対応について以下(1)から(5)の内容を報告し審議を依頼した。

- (1) 胃内視鏡検査当日に生検を実施していない医療機関があるが、事務局としては「寝屋川市胃がん検診（胃内視鏡検査）実施の手引き」にそれを妨げるものはないことから実施継続としているが、がん循環器予防センターから胃内視鏡検査当日に生検を実施するのが妥当との意見があつたため、本委員会への報告案件とした。
- (2) 当日生検を実施するか否かの情報について、市民が受診医療機関を選択できるよう、市民への公開を検討している件について
- (3) 胃内視鏡検査時におけるピロリ菌検査のための生検実施については、胃がん検診時の生検は胃がんを疑う場合のみとし、ピロリ菌の検査は便や呼気等の方法で行うよう医療機関に対し伝える対応について
- (4) 医療機関によっては検査時の感染のリスクを心配されているが、受診者の感染症の事前確認は本検診に含まれないこと及び消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイドに準じた消毒を行うよう依頼している対応について
- (5) 読影医の選定要件について「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル 2024」新たに示されたが、これを満たすことができていない医療機関があるため、事務局として今後体制を整える努力を求めていく方針としたい件について

決定事項

(1)(3)(4)(5)は現行の対応を続ける。

(2)生検の実施の可否は市民が閲覧するリストには掲載しない。

3 研修会について

検討事項

事務局から、本事業開始以降実施医療機関からの質問の問い合わせが多く「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」2024年度版に改訂されたことからこのマニュアルを踏まえた内容の研修としたいと考えており、それに対する意見及び講師の検討を委員会に求めた。

決定事項

- (1) 近隣自治体の研修会の確認作業と日本消化器がん検診学会に相談を行い講師のリストを作成し、委員会で選定を実施。
- (2) 研修実施時期は、5・6月頃を目途に実施。

4 現行書式の見直し

検討事項

胃がん検診(胃内視鏡検査)受診票の問診内容について

決定事項

- ・大きな修正でなければ、事務局に一任する。

以上